



# 衆参ダブル選挙の可能性高まる!

## ～政治の一新と 原発ゼロ実現のチャンス～

### 可能性高まる衆参ダブル選挙

参院選挙が迫る中、安倍総理は衆参ダブル選挙を本格的に画策し始めました。

前回の総選挙からまだ1年半しか経過しておらず、今年6月下旬にはG20が日本で開かれることを考えれば、今夏の衆院解散による衆参ダブル選挙は常識的には難しいと見られていました。しかし安倍総理は自らの個利個略を優先して、野党の総選挙準備が整う前にダブル選挙に持ち込む方が参院選挙にとって有利と考え始めています。予想では7月21日投票の衆参ダブル選挙の可能性が高まっています。

### 安倍政権不信任 4つの理由

しかし、衆参ダブル選挙が与野党どちらを利するかは一概に言えません。第二次安倍政権が誕生して6年半が経過し、現政権に対する国民の不信任、嫌悪感はどんどん蓄積しています。ダブル選挙は一挙に安倍政権に不信任を突きつけて、退陣に追い込むチャンスでもあります。

安倍政権に対する不信任の第一の理由は、立憲主義に反する憲法改正を行おうとしている点です。基本的人権や男女平等など権力者が守らなければならない原則を憲法に定めるのが立憲主義です。安倍総理は逆に憲法で国民を縛ろうとしています。こうした立憲主義に反する安倍総理主導の憲法改正は絶対に認められず、断固阻止しなければなりません。

不信任の第二の理由は、経済政策として掲げた「アベノミクス」の失敗です。安倍総理は「アベノミクス」を進めればお金持ちはもっとお金持ちになり、貧しい人にもおこぼれが回って「トリクルダウン」が実現すると主張しました。しかし実際にはトリクルダウンは全く起こらず、貧富の差は拡大する一方です。また約束した財政健全化は全く実現せず、後世につけを残す財政赤字が天井知らずに増え続けています。

第三の理由は、忖度政治の横行です。安倍政権は官僚に対する人事権を濫用し、官僚を使ってお友達への優遇を図り、公文書まで平気で改ざんすることが常態になっています。国民主権が機能せず、安倍忖度政治が蔓延する現状は、まさに民主主義の危機です。

そして第四の理由は、後世に禍根を残す原発維持政策です。福島第一原発の重大事故があり、これ以上原発に依存することは、安全の観点からも経済的にも合理

性がないことが誰の目にも明らかになっているにもかかわらず、安倍政権は原発推進の姿勢を変えようとしません。

安倍総理を後継に引き上げた小泉元総理は、フィンランドにある使用済み核燃料の最終処分場のオンカロを視察し、10万年もの継続的管理が必要となる核廃棄物を後世に残してはならないと確信し、それ以来原発ゼロ派に転換しました。しかし安倍総理は小泉元総理とは真逆で、原子力カムの目の利益を優先し、「今だけ」「金だけ」「自分だけ」で後世の人々のことを考えるという姿勢は皆無です。

### 世界で後退する日本の現状

安倍政権は国内政策ばかりでなく世界の中でも行き詰まっています。戦後、経済成長や技術革新で世界をリードし、一時期「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と言われた日本が、今やあらゆる分野で後退が目立つようになりました。例えば、半導体やコンピュータなど情報技術の面でも、太陽光パネルや風力発電などのエネルギー分野でも、日本企業の多くが今や中国などに追い越されて総崩れです。

それでも安倍政権が維持されているのはなぜでしょうか。安倍総理は2度目の総理になって以降、自分の後釜を狙う若手政治家の頭を押さえ、麻生財務大臣や二階幹事長のような自分より年上で自分の後釜にはなれない政治家を重用することで、長期政権の維持を図ってきたからに他なりません。

### 立憲民主党を中心とした新政権

歴史の曲がり角にある日本において新しい展望を切り開くには、政治の一新が不可欠です。

立憲民主党は、小池都知事の「希望の党」の立ち上げがきっかけとなり、有権者の「自分たちがほんとうに支持できる政党が欲しい」、そのために「枝野立て」と声をあげて、それに応える形で誕生した1年半の若い政党です。しかし、枝野代表をはじめ中心メンバーの多くは、日本が壊滅の危機の遭遇した東日本大震災とそれに伴って発生した福島原発事故に真正面から立ち向かった経験を持つ「つわもの」です。また立憲民主党の新人議員には貧しい家庭に育ちながら頑張ってきた若者など、骨のある優秀な議員が集まっています。自民党の「魔の3回生」とは違います。

ダブル選挙で原発推進の安倍総理を退陣させて、一挙に枝野代表を先頭に若い世代中心の政権を誕生させようではありませんか。そのために、私も縁の下の力持ちとして力を尽くす決意をしています。

### 原発ゼロ基本法での一致が必須

立憲民主党は野党第一党とはいえ、会派に所属する衆参議員は併せて92名で、国会議員数全体の13%しかおりません。2017年まで野党第一党であった民進党が立憲民主党と国民民主党に分かれたために、ダブル選挙に向けての候補者擁立もいまだ十分ではありません。しかし衆参とも一人区では野党統一候補で戦うことで各党の意見は一致しており、候補者の擁立と調整が急ピッチで進んでいます。

問題は参院比例区の扱いです。旧民進党として統一名簿で戦うことを求める声もありますが、その場合、国民民主党を除く野党4党が共同して国会に提出している『原発ゼロ基本法』で一致することが必須の条件になります。同じ比例名簿に原発ゼロの候補と原発容認の候補とが一緒に並ぶことは、有権者に対する背信行為になるからです。

旧民進党全体が「原発ゼロ基本法の実現を目指す」ことで合意できれば、立憲民主党を結党以来応援して下さっているみなさんの理解も得られ、幅広い野党の再結集も視野に入ると思います。

### 東京の参院候補者のひとり 「山岸一生」さんの選対本部長に

6人区の参院東京選挙区には、立憲民主党は男女2人の公認候補を擁立する方向で候補者選びをしてきました。まず元都議会議員である塩村文夏（あやか）さんが決まり、もう一人の男性候補が5月末ようやく決まりました。朝日新聞社の若手記者であった山岸一生（いっせい）さんです。2人を当選させるため「塩村あやか」さんの選対本部長には蓮舫参議院議員が就任。「山岸一生」さんの選対本部長を私にやってくれと依頼があり、難しい役目ながら引き受けることにしました。東京を大きく二つの地域に分けて、山岸君は三多摩全域と練馬区、豊島区、中野区、板橋区を合わせた区域を重点に置いて運動を進めることになります。

### 市民参加型選挙

私が最初に選挙にかかわったのは故市川房枝先生のカンパとボランティアの理想選挙です。私はそうした選挙を「市民選挙」と呼んでいます。

選挙運動には地方議員や各種の団体の応援だけでなく、市民の積極的参加が重要です。立憲パートナーのみなさんをはじめ、ぜひとも多くの人に参加していただきたいと思っています。



### 映画「太陽の蓋」 フランスで一カ月上映会

フランス各地で映画「太陽の蓋」の上映会が一月あまり行われました。菅は、2月18日の初日/パリを皮切りにヴァランス、グルノーブルでの上映会に参加。どこも超満員で、上映後の討論会には元環境大臣コリンヌ・ルパーージュさんや、市民放射能測定所（クリラッド）を設立したミシェル・リヴァジ欧州議会議員も駆けつけて、観客の熱心な質問や討論が連日続きました。

プロデューサーの橋本義さんは、菅の帰国後一カ月を映画と共に地方の町を回り、20回近くの上映後の討論に参加。どこも熱心で一時間以上も続いたそうです。

菅は5日間の滞在中に、視察、取材対応、そして初代の欧州復興開発銀行総裁やミッテラン大統領顧問を歴任した経済学者ジャック・アタリ氏と面談して原発について意見交換するなど、濃密な時を過ごしました。



### 原発、順次停止の可能性高まる 経産委で世耕大臣より答弁引出す

5月17日、菅は衆議院経済産業委員会で質問に立ち、世耕経産大臣らに原発の新規制基準に盛り込まれたテロ・シビアアクシデント対策について質疑を行いました。その結果、新規制基準のテロ対策のための特定重大事故対応施設は、現時点で全く整備されていないことが明らかになりました。電力会社はさらなる対策期限の延期を求めています。原子力規制委員会は期限までに整備されなければ、再稼働中の原発も停止させると決定しています。菅（すか）官房長官はすでにこれを認めており、世耕経産大臣からもこの日、「高い独立性を有する規制委の判断にゆだねる」という明確な答弁を引き出しました。

これによって、すでに再稼働された原発も順次停止される可能性が格段に高まりました。

また、続く「電力システム改革」に関する質疑では、東電の福島原発事故の補償の費用を、事故に全く責任のない人にまで「託送料」という名目で負担させようとしていることを明らかにしました。東電の原発事故による損害は、当然、東電の責任で補償すべきと考えます。今後も追及を続けます。



# 立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan **りっけん**

2019年 夏に予定される

## 参院選挙の 公認<sup>予定</sup>候補を<sup>ピックアップ</sup>紹介します

### 東京選挙区 (定数6)



**塩村 あやか** しおむら あやか

あなたと一緒に  
“理不尽”と闘う。

新人

■1978年 広島県福山市出身。共立女子短期大学文科卒業。放送作家として活動後、2013年東京都議会議員に世田谷区選挙区で初当選し1期を務める。都議会の議場で浴びた「セクハラやじ」を契機に、女性が議席を獲得ことが日本の未来を変えると確信、国政に挑む。



**山岸 一生** やまぎし いっせい

聞かせてください  
あなたの話。

新人

■1981年 川崎市出身。東大法学部卒、朝日新聞社入社、政治部記者として菅直人総理、野党自民党の谷垣総裁などの「番記者」を務める。記者生活15年を通じて、ひとの話を聞き、暮らしの現実を直視し、共に考え、言葉の力で伝え動かすことで、政治を私たちの手に取り戻す挑戦を決意。

### 全国比例区



**おしどり マコ** おしどり まこ

脱 原発！ 被ばく！  
情報改ざん・隠ぺい！  
無関心！

新人

■1975年 神戸市出身。阪神大震災を機に鳥取大学医学部中退、アコーディオンと針金アートの夫婦漫才『おしどり』として活動。3.11 原発事故後、記者として取材活動を始め、東電記者会見への出席約600回数は最多。2016年 平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞を受賞。



**川田 龍平** かわだ りゅうへい

いのちを守る

3期目へ挑戦

■1976年 東京都小平市出身。東京経済大学卒。血友病治療の輸入血液製剤によりエイズウィルスに感染、1993年 薬害エイズ訴訟原告、1996年 実質原告勝訴で和解、ドイツ留学、松本大学非常勤講師を経て、2007年 参院東京選挙区に無所属で初当選、現在2期目。岩手医科大学客員教授、子ども被災者支援法発議者。



**若林 ともこ** わかばやし ともこ

生活者の声  
が響く政治を！

新人

■1961年 広島市出身。比治山女子短期大学卒、ヤマハ入社、2003～横浜市議2期、2011～神奈川県議1期、2005～17 神奈川ネット共同代表、NPO法人ピッピ親子サポートネット副理事長、NPO法人全国小規模保育協議会監事、神奈川ネットワーク運動事務局長



### 参院選挙では、2つの投票を行います

「選挙区選挙」では、有権者は住民票のある選挙区に立候補した『候補者名』しか書けませんが、「比例代表選挙」では、全国どこに住んでいても、政党の名簿に登録された『候補者名』か『政党名』のどちらかを書くことができます。

「選挙区選挙」の当選者は、選挙区の定数に  
応じて得票数の多い順に決まりますが、「比例  
代表選挙」の当選者は2段階で決まります。

まず『候補者名』と『政党名』の合計得票数  
に基づいて、各政党の当選者の数が決ま  
ります。その後、各政党のなかで『候補者名』の  
得票数の多い順に当選者が決まってい  
きます。

つまり、「比例代表選挙」で特定の誰かを  
当選させたい場合は、『候補者名』で投票を  
しないと、『候補者名』の得票数が多い順  
に当選者が決まる仕組みですから、あなた  
の意思が反映されないこととなります。



### 政党名は「立憲」でも「りっけん」と書いてもOK

「比例代表選挙」で政党名を書く場合は、「立憲民主党」を略して「立憲」と書いても、ひらがなで「りっけん」と書いてもかまいません。公職選挙法上の略称として、正式に登録されています。報道で使われている「立民」は略称として登録していませんが、有効得票となる可能性が高いようです。

ご注意くださいのは、「民主党」と書くと「国民民主党」の得票となってしまうこと。間違ってしまうためにも、『政党名』よりも、より自分の意思が明確に示せる『候補者名』での投票をご検討ください。



### 公認・推薦候補者は党HPでチェック

党ホームページの「選挙情報」から最新情報がわかります。5月末現在39人の公認・推薦が決定。うち4割強が女性候補です。『パリテ(男女同数)』に積極的に取り組み、先の統一地方選後半において、女性公認候補の当選率は100%でした。



### 選挙を知って、 ボランティア参加しよう！

忌憚なく意見交換すると共に、選挙活動に参加していただけるきっかけとなり、一緒にボトムアップの政治を目指せればと考えます。入場無料。参加はパートナーズ限定ですが、会場にて500円でパートナーズ登録も可能。

- ① ■【立憲 東京 18区総支部 パートナーズ集会】  
◇日時：6月15日(土) 18:00開会 (17:30開場)  
◇場所：小金井市市民会館「萌え木ホール」  
(東京都小金井市前原町3-33-25 TEL042-385-5116)  
※JR中央線「武蔵小金井駅」より徒歩7分
- ② ■【立憲 都連 パートナーズ集会】  
◇日時：6月24日(月) 19:00開会 (18:30開場)  
◇場所：後楽園ホール  
(東京都文京区後楽1-3-61 TEL03-5800-9999)  
※JR総武線「水道橋駅」西口より徒歩約4分  
都営地下鉄三田線「水道橋駅」A2出口より徒歩6分

お問合せ：菅直人事務所  
TEL：0422-55-7010

